

平成26年12月11日

ロータリーの家族月間について

皆さんこんばんは。12月に入って、12月の初めとは思えないような寒い日が続き、大雪となった地域もあります。今は少し落ち着いていますが、週末当たりからまた寒くなるこのことです。この冬は暖冬といわれていますが、今からこんなに寒いと寒い冬になるかもしれません。

12月はロータリーでは「家族月間」ですが、本日の年末家族会は、正にこのロータリーの「家族月間」にふさわしい催しだと思います。

1995年のRI会長ハーバート・ブラウンは、世界平和は地域・家族から始まると考え、1995年11月のRI理事会において2月の第2週を家族週間と指定しました。そして2003年ジョナサン・マジイアベ会長は家族の重要性を主眼において、12月を家族月間と指定し、これに伴って家族週間は廃止され、以後RIでは12月を家族月間として、クラブだけでなくロータリアン一人一人が家族と地域社会への献身を示すよう奨励されています。

ロータリーの家族とは、ロータリアンとその家族のみならず、インターアクターやローターアクター、ライラリアン、プロバスクラブ、ロータリー奨学生やGSEメンバーなど、ロータリーに関係する組織のメンバーすべてをロータリーファミリーと呼んでいます。

従いまして、この月間はロータリアンにプロジェクトや活動、行事を通じて家族と地域社会への献身を示すとともに、会員とその配偶者や子供、親戚、元ロータリアン、亡くなられたロータリアンの配偶者等に対する家族的な心配りや善意の行動は、さまざまな考えを協力的に分ち合い、会員を強化し、退会を防止し、組織を強化し、更に人道的奉仕活動を発展させることによって、社会の信用を得、活力ある豊かなロータリーの発展に繋げることが期待されます。

皆様も、家族月間を機会に、家族の絆を一層深めていただきたいと思います。

本日の会長の時間を終わります。